Q 「小児のＸ線検査は心配ありませんか？」

A １回に受ける放射線の量はごくわずかで心配いりません。

３才児の胸部単純撮影１枚あたりの被ばく線量は、約 0.06mGy です。子供の体は成長の過程にあり、体内の細胞は活発に変化していますので、大人より約 4 倍の影響を受けやすいと言われています。

当院では、新生児（未熟児）や小児の X 線検査を行う場合、当然ながら放射線の量は成人よりも少なく、X 線の照射面積も最小限にして検査するようにしています。また、X 線検査を実施する時は、リスク以上の利益があるとの判断された場合のみ実施しています。

（基礎資料編参照）

ただし、少しでも不安がありましたら、医師に十分相談し納得されてから検査を受けてください。

Ｘ線検査をする時には、静止をして頂き、呼吸を止めて頂くなど、患者さん自身の理解と協力が非常に必要です。しかし、乳幼児などの　子供のＸ線検査をする時は、なかなかその協力が得られません。
お子さま自身の恐怖心をなくすために、付き添いの方に一緒に撮影室に入って頂き、お手伝いをお願いする場合があります。付き添いの方が妊娠の可能性がある場合は、担当診療放射線技師にお申し出ください。

参考文献　UNSCEAR Report1995
JART 日本放射線技師会雑誌 2005/Vol,52/No.629

医真会八尾総合病院　放射線科